

（仮称）大久保町第2トンネル本体工事 事故原因と再発防止策について

1. 工事概要

工 事 名：（仮称）大久保町第2トンネル本体工事
工事発注者：茨城県
工事受注者：安藤ハザマ・菅原・中井特定建設工事共同企業体

2. 事故概要

トンネルの掘削作業において、発破完了後、破碎した岩（ズリ）を搬出する作業へ移行する準備を行っていたところ、坑内を歩いていた作業員（下請業者）が後進してきた10tダンプトラックにひかれて被災した。

3. 主な事故原因

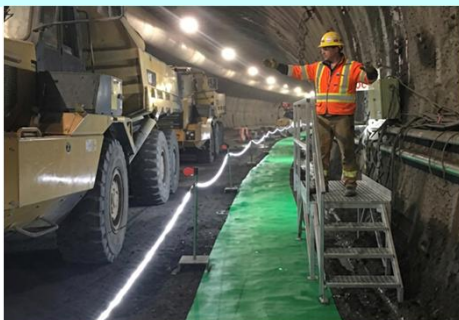
- （1）作業工程移行時に、被災者がズリ搬出車両の動線上である坑内中央付近を歩行した。
- （2）ダンプ運転手の後方確認が不足していた。被災者がダンプの接近に気がつかなかった。
- （3）前回事故（2025年9月）を踏まえた受注者による再発防止策が一部徹底されていなかった。

4. 主な再発防止策

●受注者

- ①掘削作業エリア全体の常時監視（安全専任者の追加配置、監視カメラの増設）
- ②工事車両全てへの対人検知・警報付きバックモニター搭載、作業員への車両接近警報装置の導入
- ③施工体制等の刷新（当該下請業者等の変更）

【安全専任者の追加配置】



【対人検知・警報付きバックモニター搭載】



【作業員への車両接近警報装置導入】



●発注者

- ①安全管理の徹底に対する指導
- ②再発防止策の履行状況のチェック体制強化
- ③作業員への安全教育の実施